

# 当院における急性骨髄性白血病に対するベネトクラクス投与期間と予後に関する研究

## 1. 研究の対象

2021年3月～2024年3月までに急性骨髄性白血病と診断された方で、当院においてベネトクラクス・アザシチジン併用療法を受けた患者さん

## 2. 研究目的・方法

ベネトクラクス（商品名：ベネクレクタ）は、強力な化学療法の適応にならない急性骨髄性白血病の患者さんにとって、安全かつ有効な治療法です。過去の臨床試験ではベネトクラクスを28日間内服するというプロトコールでしたが、実際は骨髄抑制をはじめとした副作用のため、28日より短い期間で治療を終えることがあります。このような短い期間での治療が、患者さんの予後にどのように影響するのかはまだわかっていません。

本研究では当院で治療を受けた患者さんについてベネトクラクスの投与期間とその予後の関連を調べることを目的とします。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療期間、生存期間、副作用等の発生状況を含む診療記録情報 等

## 4. 外部への試料・情報の提供

なし

## 5. 研究組織

りんくう総合医療センター 血液内科 白石 貫馬  
上條 公守  
釜江 剛  
安見 正人  
烏野 隆博

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

りんくう総合医療センター 血液内科 白石 貴馬/釜江 剛（研究責任者）

住所：大阪府泉佐野市りんくう往来北 2-23

電話番号：072-469-3111

(2024年2月26日)